

life  
くらし

# 健康110番

国際医療福祉大学病院です

内田克紀腎泌尿器  
外科部長



## 前立腺がん精密検査を

ます。一方、PSA検査が普及している欧米諸国では前立腺がんによ

に発見すれば、高い確率で根治が可能です。そのため、早期発見するための指標としてPSAが用いられています。PSAは「前立腺特異抗原」といって前立腺で特異的に作られる物質で健康な人の血液に発見すれば、高い確率で根治が可能です。そのため、早期発見するための指標としてPSAが用いられています。PSAは「前立腺特異抗原」といって前立腺で特異的に作られる物質で健康な人の血液

にもわずかに存在しますが、前立腺の病気になるると血液に流出して濃度が高くなります。またPSAは加齢により増えるため、年齢層別に基準値が設定されています。64歳以下は3・0以下、65〜69歳は3・5以下、70歳以上は4・0以下が推奨されており、本県ではすべての地域の住民健診でこの基準値が取り入れられています。さらに、本県の住民健診ではPSAが基準値を超えた場合に受診を勧める「精密検査機関リスト」を配布して

（第2、4木曜日掲載）

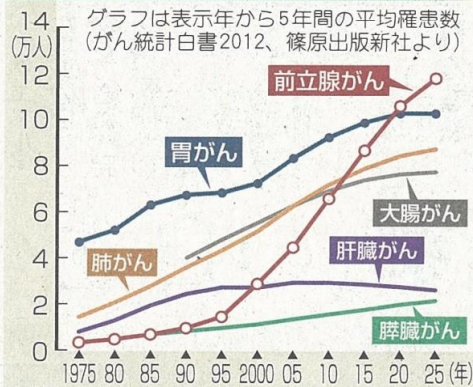
（腎泌尿器外科部長  
内田克紀）

## 自覚ないがPSA値高め

Q 60代の男性です。市の健康診断「PSA検査」の結果が3・63で精密検査を勧められました。かかりつけの内科医に相談したところ「そのくらいの値ならまだ大丈夫」と言われたので精密検査を受けようか。自覚症状はほとんどありません。

A 指示通り精密検査を受けることをお勧めします。日本人の前立腺がん患者は増加の一途で、死亡数も増加し続けています。しかし、他のがんと同じく早期

男性がん罹患数の推移と将来予測



おり、より診断精度の高い精密検査が受けられるので、ぜひこの専門機関で検査を受けることをお勧めします。前立腺がんの検診で得られる最も重要な利益は、死亡する危険が確実に低くなることです。一方、不利益は、臨床的に重要ではないがんが過剰診断されたり、結果として過剰治療をされたりする場合があります。ただし、過剰治療の不利益を減らすためにPSA監視療法（無治療経過観察）や低侵襲治療など多くの選択肢が用意されており、もしがんと診断された場合でも治療方針について専門医と十分に相談することを勧めます。

健康の不安や疑問について、読者の皆さんの質問を募集します。症状や経過をなるべく詳しく、その人の年齢、性別も書いてください。投稿者の住所、名前（ペンネーム可）、年齢、

性別を記入し、〒320-8686 下野新聞社くらし文化部「健康 110番」係へ。住所不要。FAX (028・625・1185)、メール (platina@shimotsuke.co.jp) でも受け付けます。